

第1回 検討委員会の報告（主なご意見と対応）

駅前・市有地の土地利用

- ✓ 10年後の交通を考えて、高架下や市有地に駐車場・駐輪場を設けて、駅が交通結節機能を果たすようにすべき。
- ✓ 高架化の先行事例を知ること、活用方法やいま必要な取組・働きかけが見えてくるのでは。
- ✓ 個人での開発は難しいので、企業が大きなビルを建ててテナントに入ってもらいたい。

▶ **【高架下について】**  
駐輪場としての利活用を検討中

▶ **【民間開発等】**  
市場性や地権者の意向を踏まえ対応

交通

- ✓ バスは運転手不足で減便傾向。新しい交通モード（パーソナルモビリティなど）をどう考えていくかは重要。
- ✓ 篠路の公共交通は基本的に南北軸で、東西方向の行き来が車以外に困難。

▶ **【公共交通について】**  
ソフト面での対応可能な取組について可能性の検討

ハード整備全般

- ✓ 人口増を狙うのであれば、容積率を緩和する必要がある。現状の容積では大きな集合住宅は難しい。
- ✓ 資料では、地域と企業のニーズの接点が見えにくい。飲食店を望む住民は、いまどこへ出かけているのか、企業側はどういう条件になれば出店できるのか、など細かいニーズを把握する必要がある。
- ✓ 商業施設の誘致には、商圈に一定の人口があることが大前提。人口増、流出減につながることを考えていく必要がある。集合住宅のような密な住居と空き家化していく戸建のことをセットで考えていくべき。

▶ **【容積率緩和について】**  
市有地の制限緩和について検討

▶ **【ニーズについて】**  
引き続きサウンディングの実施、必要に応じてマッチングを支援

▶ **【人口について】**  
人口予測からも人口増は困難、多様な取組にて流出減を目指す

まちづくり活動

- ✓ 新しく活動する人は参入への心理的なハードル感があるので、受け皿となるような勉強会があるとよい。
- ✓ 使える場所を探してみるのも一案。
- ✓ キッチンカーは人気がある。篠路で最初から恒常的にやるのは難しいが、イベント的にやるなら可能性はあると思う。
- ✓ コミュニティガーデンや旧琴似川は地域資源として活用したい。
- ✓ ヘルシーウォーキングのような、おもてなしと地域内の回遊を絡めたイベントは面白い。

▶ **【活動の担い手】**  
担い手発掘や育成に向けた自主活動勉強会の開催を検討

▶ **【まちづくりのアイデア】**  
今後、取り組む際の参考とする

計画全般

- ✓ 空間形成の計画やイメージを作るべきでは。
- ✓ 地域のシンボルをより強調したり、エリアごとに低層ゾーン、高層ゾーンと位置付けたり、「この場所ではこんな空間を形成していく」、「地域内の移動・交通はこういう手段、手法を目指す」などの要素を図面に落とし込んで、まち全体のイメージとして作っていきけるとよい。
- ✓ まちづくり重点エリアを明確にわけるのがいいのか。ちょうど2つのエリアの間にある旧琴似川は地域の資源・魅力だと思うので、うまく活用したい。

▶ **【空間イメージなどと合わせた計画の整理】**  
計画策定の参考とする

▶ **【地域資源の活用】**  
まちづくり活動と連携し、対応を検討する

その他

- ✓ 札幌は雪が多いので、道路や駅広は大きくなりがち。雪のことも考える必要がある。
- ✓ 雪についてハード的な対応は難しいと思うが、ソフトの取組ならできるかもしれない。

▶ **【雪への対応】**  
雪を活用したイベントや、駅前を活用したイベントなど検討